

"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address :Yoshitaka Hukuhara 〒659-0023 14-20-714 Higashiashiya-cho Ashiya
 Hyougo.JAPAN
 Mail : y-fukuhara@ae.auone-net.jp Tel 0797-38-8332

主 題

国際協会会長 IP Isaac Palathinkal
 言葉より行動を Theme: Talk Less, Do More
 アジア地域会長 岡野泰和
 未来を始めよう、今すぐに Start Future Now
 西日本区理事 松本武彦
 響きあい、ともに歩む
 To walk together, echoing each other
 六甲部部長 多胡葉子
 あなたとわたしの Y's ダムを YMCA とともに-コース、交流、地域-
 Y's dom is yours and ours. Let's share it with YMCA
 Youth, Friendship and Community-
 芦屋クラブ会長 福原吉孝
 ハツラツと爽やかなワイズの活動を地域社会に広げよう
 Let our actions Shine in the Community!

会 長 福原吉孝
 直前会長 羽太英樹
 副 会 長 五十嵐政二・堤 清
 書 記 柏原佳子・羽太英樹
 会 計 桑野友子
 監 事 田舎庸男
 連絡主事 藤田良祐
 六 甲 部 羽太英樹 (広報主査)
 上野恭男 (六甲部監事)

9

SEP, 2014
 208 号

今月の聖句

「主は国々の争いを裁き、多くの民を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず、もはや戦うことを学ばない。 イザヤ書 2:4

8月第1例会プログラム

と き : 2014年9月17日(水) 19:00~21:00
 と ころ : H竹園3F (敬称略)
 司会 : 福原吉孝
 受付 : 桑野会計・福原美鈴

1. 開会点鐘	福原吉孝会長
2. クラブソング斉唱	一同
3. 聖書朗読	羽太英樹
4. ゲスト・ビジター紹介	福原吉孝
5. 食前感謝	羽太光子
6. 食事・歓談	
7. 「希少難病についての勉強会」	小泉二郎氏 中岡亜希
8. 第2例会議事録の承認	福原吉孝会長
9. 事業委員報告・その他	各委員&メンバー
10. YMCAニュース	藤田良祐連絡主事
11. ニコニコ献金報告	島田 恒
12. 誕生祝い	福原吉孝会長
13. 閉会点鐘	福原吉孝会長

メネット強調月間に寄せて

会長 福原 吉孝
 メネット強調月間として、芦屋クラブ 9 月例会はユニバーサル・フィールドの代表理事小泉二郎様、副理事で患者でもある中岡亜希様をお招きして希少疾患の勉強会を開催する。
 今年度の西日本区メネット事業の方針はユニバーサル・フィールドの活動支援となっているので、このテーマにそって病気について知る事から始めることとした。さらにワイズメン以外の方々にも知って頂く機会としてチャリティーコンサートを開催する事を決定した。まず、NPOであるユニバーサル・フィールドの解説をしておきたい。
 希少難病は治療法もなく国から難病指定もなく患者さんが大変困っている現状と聞いている。副理事の中岡様は、突然の発症となり患者さんの自立と未来を切り拓き、人々に知って頂く為にユニバーサル・フィールドというNPOを立ち上げたと聞いている。
 世の中には医療が発達したとはいえ、まだまだ治療法もなく困っている患者さまが大勢おられる。このような方々をどのように支援するかを考えて頂くいい機会ではないでしょうか・・・私達ワイズメンとして何が支援できるか・・・を学んで頂きたいと存じます。

8月例会出席表

第1例会出席者		例会出席率		BF切手	0g
メンバー	14名	出席者	14名	累計	0g
ビジター	2名	メイクアップ	2名		
ゲスト	1名	合計	16名		
メネット	2名	在籍者	18名		
コメント	1名	(内広義会員1名)		ニコニコ	17,473円
合計	20名	出席率	94.11%	累計	31,101円

8月第1例会報告

日時：8月20日(水)19:00～21:00

場所：ホテル竹園芦屋3 F

出席者：五十嵐政二、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、権甲植、都筑省三、畠中光成、羽太英樹、福原吉孝、坂東幸子各ワイズ、羽太光子・畠中由圭各メネット、琵琶子コメット、藤田良祐連絡主事

ビジター：水野雄二総主事、多胡葉子六甲部部长、福田宏子(宝塚クラブ)、ゲスト：村田奈緒美

8月例会は福原会長の流麗な挨拶と開会点賞ではじまりました。堤ワイズの欠席で上野が司会を担当しました。

多胡葉子六甲部部长が部長訪問され、YMCAの新社屋への六甲部からの献金に協力するようにアピールされました。

ゲストスピーカーとしての水野雄二神戸YM

CA総主事は「YMCAよもやま話」と題して話され、開口一番、YMCAとは何なのかを問われることが一番難しいと。聞かざるを惹きつけました。ジョージウリアムスがロンドンで仲間と共に始めたYMCAの原点から話しは自身に及び、近江兄弟社出身の父上のごと、大学の論文がクリスチャンであるにもかかわらず、仏教のテーマを選んだとか、興味は尽きません。しかし神戸YMCAに就職が決まってから今日に至る道は当たり前前のようなようで、大変な道であったことが伺えました。



公私ともに誠実に、前向きな水野総主事の話しは大変分かりやすく、新鮮でした。新社屋の募金活動は2億円を当初の目標に掲げられ、粘り強く数年かけて達成したいとのことでした。

所要の為、開会時はバラツキを余儀なくされたが、東京から駆けつけて来られた畠中光成ワイズ、権甲植ワイズやゲストの村

田さんにも一言話をさせていただき豊かな2時間を終え閉会点鐘となりました。

脇浜のファミリーウエルネスセンター献館式

何もかも真新しい中、献館式では素晴らしい祝辞のお言葉が述べられ、多くの方のお力で誕生したことを実感いたしました。献館式には芦屋から、福原会長、上野、柏原、島田各ワイズと、畠中の5名が参列しました。

プールやフィットネスマシン施設は機能的に作られており、ここへ通う子供たちの笑顔が楽しみです。

大人も心地よく過ごせる工夫がされており、地域の方々の集いの場となることが期待できます。

1Fには高齢の方のデイサービス室があり、運動もできるようになっていました。隣には未就学児向けの児童デイサービスに使用のお部屋がありました。児童デイサービスのお部屋は、今後おもちゃなども増えて、子供たちの笑い声が響くことでしょう。

児童デイは発達障がいや軽度の障がいを持った子供たちが幼稚園や小学校などの大集団生活に入る前に、主に集団での生活習慣などを身につける場として設けられています。実施時間が短い施設が多く、共働き家庭では通所が難しい等多くの課題もありますが、YMCAで取組めるのはとても頼もしいことです。発達障がいは適切な理解と指



導で乗り越えられることが少なくないので意義深いことだと思います。

8月初旬、娘が初めてのデイキャンプに3日間参加させて頂きました。雨の中でも活発に野外活動を楽しんだようで今後のキャンプへの参加を今から楽しみにしています。

人見知りの娘と打ち解けて見守って下さったリーダー、職員の方々にこの場を借りて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

畠中 由圭



<旅行記> ウィーンの森を訪ねて

真夏の一週間、やや涼しさを感じる中央ヨーロッパを旅することができた。歴史ある荘厳な教会や宮殿、世界遺産に登録された美しく落ち着いた街並み、日本を離れた感慨に充たされた。

もう一つの目的は、研究している経営学者ドラッカーの生家を訪ね当てることであった。事前の情報、詳細なウィーンの地図、そして現地でのGoogle Earthによる特定を得て、土砂降りの雨のなか目的にたどり着いた。そこは緑深いウィーンの森、落ち着いた高級住宅街の一角であった(写真)。ドラッカーの両親は当地の有力者であって、フロイト、トーマス・マンなど有名文化人が訪れていたという。

そんな恵まれた環境の若きドラッカーが、ナチスに深い疑問をもち、批判の論文を発表し、追われるようにアメリカへと移り



住んだのであった。社会や人間に対する深い洞察、それを実現するための構想、それは机上の理論を超え、現実を変革する力をもつものであった。

若い時代に大きな感化を受けたキルケゴールの哲学、終生変ることのなかった自由と機能を求めるドラッカーの信念が世界中の人々を魅了していく源泉であった。土砂降りの雨に打たれながら、世界を変え人間を変えていったドラッカーの世界にあらためて思いを深めた。いま、ウィーンの森の物語(シュトラウス)の美しい音楽を聞きながら貴重な経験を味わっている。

島田 恒

< 随想 > BARを楽しむ(その2)



時間が余り「・・・には早すぎる」かような時、夕暮れ前(5時頃)からOPENしているのが「老舗BAR」。蔦のからんだ表階段を上げれば赤いテントとクラシックな煉瓦に木製ドア。あるいは集合ビルの一番奥にひっそりと、これぞ「simple is best!」重

厚な磨りガラスのドアに赤いドアノブと赤の英文字で店名が。いずれも「隠れ家、とまり木」として雰囲気はパッチリ。そんな行きつけのお店にさりげなく一番乗り。(本心は少し気兼ね気味～常連客こそ、その場を我が物顔で私物化せず控え目な存在であるべしと...)扉の向こうは別世界。整然とボトルが並べられたチーク材のバックバー(バーテンダー氏の背後にある洋酒棚)。入念に磨き上げられたグラスの数々。店内に染み込んだシェリー酒樽の如き心地良い芳醇が...。バーテンダー氏があの格好いい私立探偵 フィリップ マーロウが愛するカクテル(ギムレット(ジンにライムジュースでハードシェイク))をその日最初の一杯としてつくり、私はその一杯をゆっくり味わう。静かなBARの静かな最初の一杯...。ああ至福の時そのもの。ある日、(マティーニ)を家にあるジンとベルモットで私流のレシピで作ってみた。やはり雰囲気も含め駄目だった。でもジンを新鮮なライムとソーダカトニックウォーターで割ればれっきとしたロングドリンク(ジンリッキー)(ジントニック)が手軽に...。これなら食卓でも楽しめるはず。夏の終りに爽やかな手作りの一杯は如何?

米国ミステリー作家 レイモンド チャンドラーの小説に主役で登場する私立探偵。そのセンスある名言・名文句は最高! 早川ミステリー文庫「長いお別れ」は秋の夜長にお薦め!

篠坂 幸彦

< 寄稿 > 「ガザ」ってどんなところ?

「ガザ 薄氷の停戦合意 2千人の犠牲者を出し、パレスチナ自治区ガザでようやく実現した長期停戦。イスラエルとパレスチナの溝は埋まらないまま、薄氷の幕引きとなった」(8月28日の朝刊から)・・・この地は地中海沿岸エジプトに近いバイブルランドの一角である。紀元前数千年の昔から歴史に登場する。聖地へはまだ旅したことはないが子どものころから慣れ親しんだ聖書なのでこの地への関心は大きい。改めて聖書で「ガザ」の登場する箇所を見てみた。旧約聖書にはたくさん出てくるが、そのほとんどが紛争に関する記事である。この地には海洋民族だったペリシテ人が住み着きイスラエル人との争いは絶えなかった。一方、新約聖書には「ガザ」の地名はほとんど登場しないが、使徒言行録はエチオピアの高官がエルサレム神殿に参拝した帰り道の出来事を記録している。それはエルサレムからガザに向かう寂しい街道でのこと、高官は馬車の上で聖書を読んでいたが理解できなかった。そんな時イエスの弟子のフィリポが近寄り、イエスの教えを説き洗礼を受けたというエピソードである。紛争地の「ガザ」で今、長期停戦が実現したと伝えられたが、これも危うい「停戦」であって、これからもバイブルランドの各地で紛争は絶えないのだろう...

羽太英樹

篠坂ワイズが家庭教師をした「みどり福祉作業所」の安部真里子さんから、嬉しい手紙が届きました。

篠坂さん、先日は作業所に来てくれてありがとうございました。香風高校の3部に入学して4月から頑張っています。勉強は難しいです。でもクラブは楽しいです。卓球部に入りました。いっぱい試合をして勝ちたいです。2学期になったのでこれからも頑張ります。

安部真里子



今月のスピーカー

社団法人 Universal Field 代表理事 小泉二郎氏



希少難病に国の助成を訴え、国内外で活動し、大学と共同申請した研究が厚生労働省助成事業に採択され、希少難病研究に携わる。

ユニバーサル・フィールド副代表理事 中岡亜希氏

手足の先から徐々に筋力が低下していく進行性の難病「遠位型ミオパチー」の患者。国際線の客室乗務員をしていた25歳の時に発症。

8月第2例会議事録(抄)

とき: 8月27日(水) 18:30 20:15

ところ: 芦屋市民会館 207号室 敬称略

<出席者> 福原吉孝、上野恭男、柏原佳子、桑野友子、都筑省三、藤田良祐、畠中由佳、羽太英樹 (8名)

<議案>

- 9月第1例会(9月17日・メネット強調月間)を検討。「希少難病についての勉強会」
講師: NPO 法人 ユニバーサルフィールド代表理事 小泉二郎氏と希少難病と闘っておられる中岡亜希 同法人副代表
- 10月第1例会(10月15日)は下記の通り確認した。「谷崎潤一郎を語る」講師: 谷崎潤一郎記念館学芸員
- 11月例会(11月19日)YMCAについての学び(II) 東日本大震災へのボランティア活動の報告を聞く会。
1月例会(1/21)畠中光成メンによるメンバースピーチ
2月例会(2/18)藤川晃成メンによるメンバースピーチ
- YMCAフィットネスクラブ献館式(8月30日)
参加者(福原会長・上野・島田・柏原・畠中由佳 各ワイズ・メネット)を確認した。
- 六甲部部会9月6日(土)
参加者(福原・上野・柏原・桑野・島田・羽太・都筑各ワイズ)
みどり作業所のクッキー50個(@¥400)を販売する。(仕入は@¥350 収益はみどり基金に充てる)
- YMCA新館建築への寄付金は下記にて対処する。
* 六甲部経由の寄付はクラブ会計より¥100,000支出する。
* 芦屋クラブ直接の寄付はクラブ会計より¥300,000をクリスマス例会にて贈呈する。
- 今期ジャガイモファンドの件
例年通り、「十勝産」と「インカのめざめ」を扱う。販売価格は¥2,300(近隣配達分) ¥2,500(宅急便発送分)とする。尚「インカのめざめ」は上野メンが産地と交渉中
- トラクト作成の件
畠中メネットを中心にプリテン委員が担当し検討する。
第1回委員会は9月24日(水)午後2時より、福原会

長の提案で柏原邸にて開催し、第2例会を続けておこなうことにする。

9) 7月決算報告が桑野会計よりあり、了承する。

10) その他

* 篠坂ワイズが9月より復帰される。以上

YMCA ニュース

- 三宮会館閉館、ファミリーウエルネスセンター完成
42年間活動してきました三宮会館の活動を終了し、9月より解体工事がスタートします。一方の脇浜のファミリーウエルネスセンターでは、8月30日(土)に献館式が行われ、9月1日(月)のグランドオープンを迎えました。
- 福島の子どもたちを招く I'm a partner Camp 開催
この夏も福島の子どもたちを招くキャンプが余島で開催され、このキャンプの実施には、「よしましよ」をはじめ、コープこうべの皆さんやユニセフの方々、啓明学院の高校生などたくさんの方々の支援があったことを思います。このキャンプが子どもたちの未来に大きな影響を与えていくことを心から願っています。
- ICCPJ、離神
この夏も台湾からのICCPJ(インターナショナル・キャンプ・カウンセラー・プログラム・イン・ジャパン)の女子大学生2名を余島に受け入れ、7月中旬より8月中旬までキャンプを中心に神戸YMCAのスタッフとして、活動に参加していただきました。台湾の台中YMCAがアレンジしているICCPJは、日本では神戸YMCAが窓口となり、全国のYMCAのキャンプ場に40名の台湾からのユースを送っています。その内2名が余島で一ヶ月の間、キャンプスタウンセラーとして特別な体験をしていただきました。
- 今後の予定
 - 第31回チャリティゴルフ
日程: 10月22日(水)
場所: 芦屋カンツリー倶楽部
 - 第18回日本YMCA大会
日本のYMCA全体が「YMCAブランドの再生」に向かって語り合う機会を持つようとしています。神戸からもバスを出します。
日程: 11/22日(土)~24日(月・祝)2泊3日
場所: YMCA国際青少年センター東山荘
連絡主事 藤田良祐

編集後記

もりおかクラブのプリテンから震災、津波、土砂災害、自然のもたらした同じ痛みを経験された想いが伝わってきます。しかし、盲導犬が経験したむごい痛みを私たちは理解できるでしょうか? 人間のために本来持っている優しさ、柔軟さ、素直さの本質を生かされ更に訓練を重ね、人間のために誠実に使命を果たすオスカーにこのような仕打をした者が同じ人間として恥ずかしい! うめき声一つあげず怒りもせず、心の傷は癒えるのだろうか? 人間への不信感が残らないのだろうか? 抱いて、ごめんなさいと謝りたいけれど飼い主以外は触ってはいけない掟とか…。
柏原佳子